

一宮市立市民病院 腎臓内科・血液浄化センターに通院中または
過去に通院された患者さん またはご家族の方へ

腎臓内科・血液浄化センターの臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「DDM（透析量モニタ）を用いた低血流透析における透析液流量最適化の検討」に関する臨床研究を実施しております。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	DDM（透析量モニタ）を用いた低効率透析における透析液流量最適化の検討
所属（診療科）	腎臓内科・血液浄化センター
研究責任者（職名）	前田純（臨床工学技士）
研究実施期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日
研究の意義・目的	血液透析では、血液中の老廃物や余分な水分を取り除くために、多量の透析液が使われています。透析液は安全な水や電気など、多くの資源を必要とするため、無駄を減らし効率よく使用することは、今後の透析医療の継続にとって重要な課題です。 血流量が少ない透析（低効率な透析）では、透析液の流量を減らしても、毒素の除去効率（透析効率）があまり下がらない可能性が指摘されています。 本研究では、当院で行われた低血流量の維持透析症例を対象に、透析液の流量を慣習的な量から減らしても、透析効率が保たれるかどうかを検証します。これにより、患者さん一人ひとりの血流条件に応じて、透析液を適切な量に調整しつつ、安全で質の高い透析と、透析液使用量の削減を両立できるかを明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	2023年1月1日～2023年12月31日に透析治療をされた患者
利用するカルテ情報	透析装置の排液吸光度変化から得られる透析量（Kt/V）データ
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院 医療技術局 臨床工学室 〒491-8558 愛知県一宮市文京 2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

本研究では、通常の診療において得られた診療記録（カルテ）や検査結果などの情報を利用して実施します。そのため、新たな診察や検査、検体の採取などは一切行いません。

研究にあたっては、患者さんを直接特定できる個人情報（氏名、住所、IDなど）を削除・匿名化したうえで、統計的に処理・解析を行います。

得られた研究成果は、医学・薬学の発展に寄与することを目的として、学会発表や論文投稿等に利用されることがあります。個人が特定されることはありません。

ご自身の診療情報等を本研究に利用されることをご了承いただけない場合は、研究対象とはいたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも、診療その他の医療上の不利益を受けることは一切ありません。